

済生会ニュース

平成20年3月1日発行 三重県松阪市朝日町一区15番地の6 TEL 0598-51-2626代/ FAX 0598-51-6557
http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp

院外版



栄養サポートチーム(NST)の活動について

内科・NST 清水 敦 哉

日本の高齢化社会が叫ばれて久しくなりますが、病院の入院患者さんをもみても本当に高齢者が増えました。80歳、90歳の患者さんは当たり前で、100歳を超える患者さんも時々見かけます。家庭ではとっても元気なおじいちゃん、おばあちゃんでも、やはり病気をされると急激に衰弱されます。ちょっとした肺炎でも動けなくなり、食欲も低下します。高齢者の方が食べられなくなると栄養状態が悪化し、病気の治りも悪くなります。それどころか別の病気が出現したり、生命にかかわる危険な状態に陥ってしまいます。

近年、栄養サポートチームを有する病院が日本でも増え、最近では全国で1000の病院で活動しています。もともとはアメリカの病院ではじまり、英語でNutrition Support Team (NST) といいます。当院では2002年4月にこのチームを結成しました。医師・看護師・薬剤師・栄養士・検査技師・リハビリ専門士などの多職種のメンバーで構成されています(写真)。このチームの活動をご紹介します。

まず、患者さんが当院へ入院されると、各担当の看護師が栄養状態に関する項目のチェックをします。たとえば著しい体重減少の有無や嚥下障害の有無、褥瘡はどうか？むくみはどうか？などです。この評価で栄養状態がかなり不良であり、主治医が栄養サポートチームの助けが必要と判断しますと、メンバーが回診します。身長・体重から必要なカロリーを計算して、カロリーや栄養バランス、栄養投与方法に問題がないかを検討します。回診は週に1回です。メンバーは皆、各自の仕事を持っていますが、時間を作り回診できるようにしています。

入院時に栄養状態が良くても、経過中に悪化される患者さんもおられます。そのような人も見過ごさないようなシステムがあります。それはすべての入院患者さんの食事摂取量を毎週チェックすることです。当院の二人の管理栄養士がその仕事をしています。食事が

とれず、さらに血液検査で栄養状態が悪いと判断された患者さんについて、回診すべきかどうか検討します。ひとりでも多くの患者さんを回診したいと思いますが、マンパワーや時間に制限がありますので、特に回診の必要な患者さんを選んで行っています。



栄養状態が悪い患者さんの多くは飲み込み(嚥下)がうまくできなかつたり、褥瘡があつたりします。栄養サポートチームだけではなく、褥瘡管理や嚥下訓練、口腔内ケアなど他のチームや先生にお願いしなければならないこともよくあります。また、どうしても食べられない場合は点滴をしたり、鼻から細いチューブを挿入して栄養剤を胃へ注入したり、さらには胃瘻(PEG・ペグ)というお腹から胃や腸に栄養剤が注入できるチューブを挿入する手術(多くは内視鏡下で造ります)をお勧めしたりしています。

胃瘻(ペグ)は新聞などでも取り上げられ、よく知られるようになりました。しかし、まだ間違った情報も飛び交っています。正しい知識、正しい管理方法を普及させることも栄養サポートチームの役割と考えています。最近、液体の栄養剤に粘度をつけることで肺炎などの合併症が減らせるかどうかの研究も行っています。

栄養補給の最大の目標は経口摂取です。口から食べられることが、人にとって一番の幸せであり、その可能性を求めたいと思っています。しかし、残念ながら嚥下評価や訓練を遂行できる専門家が少なく、また、当院のように急性期病院では長期入院が困難であり限界を感じています。今後、医療がさらに充実し、転院先あるいは在宅でも安全かつ着実に嚥下訓練ができるシステムが構築されればと願います。

当院での栄養サポートチームの活動はまだまだ十分とはいえませんが、6年間の活動により病院内での栄養管理のレベルは向上しつつあります。これからは病院だけではなく、地域全体のレベルが上がるような活動ができればと考えています。これからもご支援、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



内科外来

主任 祖父江 亜紀子

済生会松阪総合病院の外来患者様は、1日に800~1000人程来院されます。そのうち250~300人の患者様が内



科を受診されます。

内科外来では、初めて来院された方やどこの科にかかってよいかわからないような症状に対して、適切な御案内ができるよう看護師が問診を行っています。また、診察の介助、検査の説明、注射などはもちろんのこと、生活指導や食事指導なども行なっています。定期的に来院される患者様以外に、初めて当院を訪れた方にもわかりやすく丁寧に説明を行ない、笑顔で対応する事を心がけております。業務が繁雑なときや来院患者様が多い時はお待たせする事が多々ありますが、出来る限り順番がわかるように声をかけさせて頂いております。

少ない人数ではありますが、笑顔を絶やさない癒しの看護を心がけています。

皆、日々努力はしておりますが、何かお気づきの点がありましたら、気軽に声をかけて下さい。



おくすり通信

済生会松阪総合病院 薬剤部



★★

【今回は錠剤・カプセル剤の剤形についてお話します】

見た目は同じような錠剤でもそれぞれ次のような特徴があります

① 徐放性製剤

薬が少しずつ溶け出し、長時間効果が持続するように設計された薬です。そのため、1日の服用回数を減らす事ができます。

② フィルムコーティング剤

苦味やにおいが強い薬、光により分解される薬、吸湿性がある薬は飲みやすさ、安定性の面から錠剤にコーティングが施されています。

③ 腸溶錠

胃酸により効果が減弱する薬、胃障害を起こす薬は、胃で溶けず腸内で溶け、吸収されるよう設計されています。

注意点

錠剤が飲み込みにくい場合でも、これらの薬を粉砕したり、カプセルを開封して服用することは大変危険です。薬効に影響が出るだけでなく、徐放性製剤では一度に大量の薬が吸収されて副作用が起こる可能性もあります。粉薬やシロップ剤へ変更できる薬もありますので、自己判断での粉砕は避けるようにして下さい。

何かご不明な点があれば薬剤部までお尋ねください。





知って得する病気の話

もやもや病

脳神経外科部長 村田 浩 人

ヒトの脳は左右の内頸動脈と椎骨動脈の計4本の血管によって栄養されており、この血管は脳底部で繋がってウイリス動脈輪を形成しています。この輪は動脈が一本詰まっても他の血管から血液が流れ込むための安全装置として働いています。この動脈輪を中心とした脳血管が進行性の狭窄・閉塞をきたす原因不明の疾患がもやもや病で、ウイリス動脈輪が機能せず脳血流が不足するため、毛細血管が多数拡張して脳血流を維持しようとします。脳血管撮影でこの毛細血管がもやもやと見えるため、この病気がもやもや病と名づけられました。日本の脳神経外科医により概念が確立された疾患で英語名も“moyamoya disease”とされています。かつてはウイリス動脈輪閉塞症という難しい名前が正式名称とされていましたが、2001年にもやもや病に改変されています。一般への認知度が高まったのは2001年に歌手の徳永英明さんがこの病気にかかったことが報じられてからではないでしょうか。

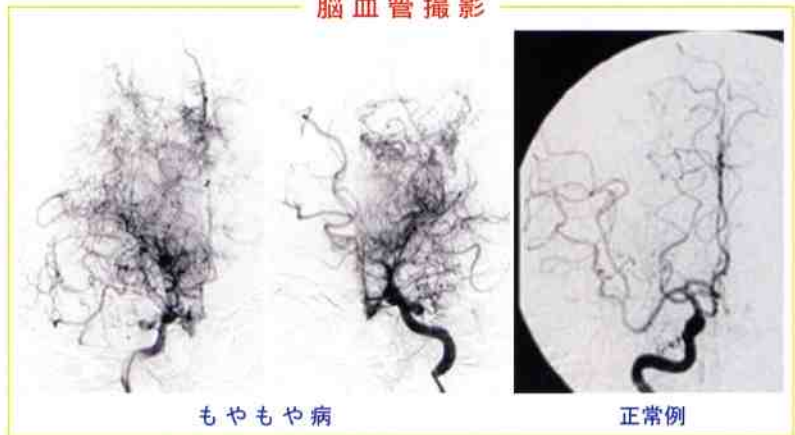
何故か東アジアに多く、圧倒的に日本に多

く発生しています。発症年齢は10歳以下と40歳前後で、小児は一過性脳虚血発作や脳梗塞などの虚血症状がほとんどであるのに対し、成人はほぼ半数が脳出血で発症します。小児でもっとも特徴的な症状は、過呼吸に誘発される一過性の意識障害・脱力発作・言語障害などです。笛やハーモニカを吹いたり、泣いたり、全力疾走したときなどに血中の二酸化炭素濃度が下がり脳血管が収縮し脳への血流が減少するのが原因です。

MRAか脳血管撮影で確定診断が可能で、①ウイリス動脈輪近傍に狭窄／閉塞がみられる ②その付近に異常血管網がみられる ③これらの所見が両側性にあることが特徴です。

もやもや病は脳動脈が細くなる病気であるため、不足する脳血流を補うための外科的治療が一般的に行われます。頭痛やけいれん発作のみの場合は薬物療法のみで経過を観察することもあります。

脳血管撮影



ケーススタディ発表会 平成20年1月19日(土)

教育専任係長 永井 太 香

▶発表風景



済生会松阪総合病院の看護部の理念は「癒しの看護」です。癒しとは病気そのものへの働きかけとともに、心の状態を含めた人間の「いのち」への働きかけであります。病気だけでなく、患者様を1人の生活者としてとらえ、かかわることを大切にしています。

当院でいうケーススタディとは、実務経験2年目看護師が患者様とのかかわりを通して自己の看護を振り返り、体験し感じた思いなどを文章にまとめ、癒しの看護を考えることを目的とし事例発表しています。また発表することで自己成長する機会としています。そのうち毎年数例、院外で研究として発表する機会を頂いています。倫理的配慮として、患者様にケーススタディのねらいやそれ以外の目的には使用しないことを十分説明し、承諾を得られた場合に症例をまとめ発表

させていただいております。

平成19年度は発表者24名、紙上発表4名の28名全員がケーススタディをまとめることができました。平成19年度の発表者のテーマとしてとりあげられたのは、糖尿病や心不全患者様などへのパンフレット指導を行った成果や、日常生活の援助の中で工夫した関わり（口腔ケアやリハビリテーションなど）また、在宅看護への支援として家族看護や高齢者ケアの工夫、参画型看護計画導入など多岐にわたる取り組みについての内容でした。発表することで自己の看護を振り返ると共に、他者の看護を知る機会になりました。今後も済生会松阪総合病院で働く看護師育成にむけて、地域の皆様に「癒しの看護」を提供できるよう、日々努力していきたいと考えております。

▶先輩からのコメント風景



新玉ねぎを使って… **玉ねぎとじゃが芋のサラダ**



材 料 (4人分)
 玉ねぎ…200g ジャガ芋…300g
 カリーブオイル…大さじ3 塩 …小さじ1/2
 こしょう…適量 パセリ…適量

作り方
 ①玉ねぎは薄切りにして水にさらす。
 ②じゃが芋は皮付きのままゆでて皮をむき5mmの厚さに輪切りする。

③じゃが芋の上に玉ねぎを置き、オリーブオイルと塩、こしょうを少量ずつかける。その上にじゃが芋と玉ねぎを同様に重ねて冷やす。
 ④皿に盛り付け、パセリを散らす。
 (1人分146kcal 塩分0.8g)

【玉ねぎ】

玉ねぎは新陳代謝を促し、神経を鎮める作用があることから疲労回復や不眠症によいとされています。切ると鼻につく刺激臭は揮発性イオウ化合物で、血液をサラサラにする抗血栓作用があります。

【じゃが芋】

ビタミンCとカリウムが豊富です。じゃが芋のビタミンCはでんぷんにガードされているので加熱調理で減少しにくいのが特徴です。切らずに皮ごとゆでるとビタミンCの損失を妨げます。

☆ビタミンCの働き☆

コラーゲンの合成を促進。免疫機能を高め、ウイルスに対する抵抗力を高める。



内 科
橋 本 章



脳神経外科
黒 木 香 行

外来診療担当表

(2008年3月1日)

★担当医は変更になることもあります。

● 受付時間 8:00~12:00 (診療科と曜日によって多少変更あります)
 ● 休 診 日 土・日曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)、創立記念日(5/30)

		月	火	水	木	金
内 科	一診					
	二診	須川 正宏	南川 光三	垂見 敏明	須川 正宏	南川 光三
	三診	保田憲基 (午後) <small>(予約のみ)</small>	小林 稔彦	脇田 喜弘	小林 稔彦	保田 憲基
	四診	橋本 章	橋本 章	井口 正士	井口 正士	中島 啓吾
	五診	清水 敦哉	上村 泰弘	上村 泰弘	大学医師 (午前)	上村 泰弘
	六診	垣本 斉		田中 淳子	坂井 正孝	
	七診	通化器外来 中島 啓吾	清水 敦哉	中島 啓吾	清水 敦哉	脇田 喜弘
	八診	循環器外来 坂井 正孝	垂見 敏明	垣本 斉	保田 憲基	田中 淳子
外 科	一診	藤森 健而	長沼 達史	長沼 達史	藤森 健而	田中 穰
	二診	田中 穰	飯澤祐介 (第1・3・5火曜) 柏倉由実 (第2・4火曜)	柏倉 由実	飯澤 祐介	長沼 達史
	午後		外科医師 (肛門・乳腺)			外科医師 (乳腺)
脳 神 経 外 科	一診	諸岡 芳人	黒木 香行	諸岡 芳人		諸岡 芳人
	二診	村田 浩人	清水 重利	村田 浩人	清水 重利	黒木 香行
整形外科	一診	今原 敏博	整形外科医師	今原 敏博	整形外科医師	今原 敏博
	二診	竹上 謙次	森本 政司	森本 政司	竹上 謙次	森本 政司
	三診	植村 剛	竹上 謙次	高北 久嗣	植村 剛	高北 久嗣
	午後			乳児検診 (要予約)	竹上謙次 (腰痛外来) (要予約・紹介のみ)	
産 婦 人 科	午 一診	高倉 哲司	紀之本将史	高倉 哲司	菅谷 健	竹内 茂人
	前 二診	竹内 茂人	高倉 哲司	紀之本将史	紀之本将史	高倉 哲司
	三診				竹内 茂人	
	午 二診			高倉 哲司		
	後 二診		手術		手術	手術
	三診			乳房外来 (要予約)		
ART・生殖医療センター (完全予約制)	午前 一診再診	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健
	二診再診	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人
	午後 一診新患	菅谷 健		菅谷 健		手術
	二診新患	竹内 茂人	手術	竹内 茂人	手術	菅谷 健
	夕 一診再診	菅谷 健		菅谷 健		竹内 茂人
	診 二診再診	竹内 茂人		竹内 茂人		
小 児 科	午前	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市
	午後		予防接種	乳児検診	老谷 嘉市 <small>アレルギー外来(第1火曜)</small>	乳児検診
眼 科	一診	宮村 昌孝	交代	宮村 昌孝	宮村 昌孝	宮村 昌孝
	二診	江崎 弘治		江崎 弘治	江崎 弘治	江崎 弘治
皮 膚 科		垂水 千早	垂水 千早	垂水 千早	近藤 誠	垂水 千早
耳 鼻 咽 喉 科		大学医師		大学医師		大学医師
泌尿器科	一診	森 脩	小川 和彦	森 脩	柳川 眞	金原 弘幸
	二診(新患)	小川 和彦	柳川 眞	金原 弘幸	小川 和彦	柳川 眞
神 経 内 科		坂井 利行	近藤 昌秀	坂井 利行	近藤 昌秀	坂井 利行
麻 酔 科		宮村とよ子	宮村とよ子	宮村とよ子	宮村とよ子	宮村とよ子
放 射 線 科		寺田 尚弘	野本 由人	加藤 幹愛	中川 俊男	野本 由人
		村田知恵子				
口 腔 外 科		佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一
		朴 一根	朴 一根	朴 一根	朴 一根	朴 一根